

## 南区自治協議会(第5期)を振り返って

南区自治協議会会長 棚村 真寿美

### 1 はじめに

第5期(27、28年度)の南区自治協議会は、これまでの新潟市との合併計画として行われた事業のような明確な課題についての議論が終了し、次に区自治協議会委員として何に目を向け、提案事業として何ができるかを問われたと思います。

市や区からの報告事項については、配布資料から何を読み取りどのような意見を出せるか、「諮問機関」としての役割を果たすことができたのでしょうか。

南区の地域の課題については、27年度以降の「区ビジョンまちづくり計画」策定に参画し、課題の整理ができていました。

その中から区自治協議会として取り組むこととしては、まず公共交通の利用を促進することです。公共交通としては唯一バスに頼らざるを得ません。しかし、国道8号線を直進する路線バスは生活に身近な移動手段とはならず、地域を回る区バスや乗合タクシーが補っています。それら公共交通を維持するためには、利用を上げなければなりません。今後高齢で自家用車の運転が困難になる住民が増える中、区バスの存続は重要な課題です。

また、南区は少子化が進んでおり、非婚率が高いです。まずは、子供の頃からの温かで賑やかな家庭の実感があることで、結婚して家庭を持ちたいと思うのだという考えから、家族のふれあいを大切にすることに目を向けました。

そして、南区の産業の発展や観光の活性化にスポットを当て、南区全体でその気運を高めていくことが大事であると考えました。

この2年間で南区自治協議会委員が地域の課題としてとらえ部会や全体会で検討を重ねた結果、さまざまな提案を行い、事業を実施することができました。その成果を振り返ります。

### 2 取組内容・成果

#### (1) 全体会について

##### ア 地域課題の解決策を提案

地域課題解決のため、専門部会を設置し、課題の把握、整理、分類を行い、市や区に対し、以下のとおり、提言や要望を行いました。

##### ①外灯(防犯灯)の維持、管理に対する意見書 平成27年9月30日付

自治会が防犯灯のLED化を進められやすい環境づくりなどについて意見書を提出しました。

## ②「南区を安心して安全なまちにするために」提言 平成29年3月19日付

南区内の犯罪を防ぐ取組として、南区防犯協会をはじめ南区自治協議会、コミ協、自治会、各種団体、企業、学校などが連携して防犯活動を継続していく事が必要であり、活動を支えるためには、一人ひとりの防犯意識の向上が大切であると提言しました。

## イ 南区自治協議会委員研修の実施

### ①協働についての講演会 平成28年2月24日(水)

区自治協議会委員のほか、各地区コミュニティ協議会も参加し、「協働とは何か」「協働の必要性」について、地域の方々と一緒に学ぶ良い機会となりました。

### ②「まち歩き」研修 平成28年10月14日(金)

昭和初期の町屋が残る特徴ある街並みの「白根商店街」周辺を、しろね大丸タウンガイドから案内してもらい、白根の町の歴史などを学ぶことで、今まで住んでいながら知らなかった地域の魅力などを発見する機会となり、今後の地域づくりのきっかけとなりました。

## ウ 市長との意見交換会の開催

市政全般に関して、共通認識を得るため、意見交換会を年1回開催しました。

## エ 南区教育ミーティングの開催

各区共通の課題や区の実情などについて、教育委員と区自治協議会委員が区内の教育現場や状況などの意見交換を実施しました。※全体会及び第2部会を対象とした意見交換会を年間2回開催

## オ 議会報告会の開催

市議会議員と区自治協議会委員が「新潟市のまちづくり」をテーマに、ワークショップ形式で意見交換を実施しました。

## (2) 部会について

### ア 第1部会【公共交通、防犯・防災、環境、建設、都市計画などを担当】

#### ◎平成27年度

#### ○南区公共交通PR事業

- ・第3部会提案事業「南区たからいち(H27.9.12)」にて、水と土の芸術祭会場を巡るツアー、区バスクイズラリーを実施
- ・平成26年度区バスデザインコンテストの応募作品をバス内に展示
- ・南区区バス利用啓発チラシ(レインボーバス通信)を発行

- ・南区公共交通ガイドの発行
- ・区バス協賛広告の更新

#### ○南区防犯・防災啓発事業

- ・防災啓発マグネットを作成し、各家庭に全戸配布
- ・「南区安心・安全みまもり隊」活動の詳細を検討

#### ◎平成28年度

##### ○南区公共交通PR事業

- ・風と大地のめぐみ南区凧フェスティバル&産業まつり(H28.10.2)にて、南区公共交通PRコーナーを設置し、連節バス「ツインくる」の展示、「ぐるりん号」すごろくの実施。その他、「ぐるりん号」のPRとして、臨時運行を実施。
- ・南区区バス利用啓発チラシ(レインボーバス通信)を発行
- ・南区公共交通ガイドの発行
- ・区バス協賛広告の更新
- ・公共交通PR環境の充実

##### ○南区防犯・防災啓発事業

- ・「南区安心・安全みまもり隊」のステッカーを作成し、各自治協議会委員に配布し、見守りの実施
- ・新小学1年生へ反射材を配布

#### イ 第2部会【健康・医療、福祉、教育、地域、男女共同参画などを担当】

##### ◎平成27年度

第4期からの継続事業。家族のつながりや温かい家庭をつくることが大切という、強調月間「家族ふれあい月間」を11月に定め事業を展開しました。

##### ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展を開催

日時：平成27年11月1日(日)～18日(水)

会場：白根学習館1階 交流広場

展示総数：647点※絵画276点(小学4年生)、標語・川柳371点(中学1年生)※作品の一部を地域の文化祭で展示する試みも行いました。

##### ○「家族ふれ愛月間」映画上映会を開催

日時：平成27年11月8日(日) 午後1時30分～、午後6時～

会場：白根学習館 ラスペックホール

※「うまれる」来場者数：377名

※「うまれる ずっと、いっしょ。」来場者数：350名

##### ○南区「家族ふれ愛月間」リーフレット作成

白根高等学校イラスト部にリーフレットの挿絵を依頼し、協力して作成しました。映画上映会の来場者及び区内中学校の卒業生及び白根高等学校へ配

布しました。

**○のぼり旗「家族のふれあいを大切にする南区」を作成**

イベント時だけではなく、南区の地域生活センターなどに配布し通年の事業PRをしました。

**◎平成28年度**

**○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展を開催**

日時：平成28年11月1日(火)～20日(日)

会場：白根学習館1階 交流広場

展示総数：675点※絵画309点(小学4年生)、標語・川柳366点(中学1年生)※絵画・川柳展については希望するセンター、地域文化祭でも展示

**○「家族ふれ愛月間」講演会・映画上映会を開催**

日時：平成28年11月13日(日) 午後1時30分～

会場：白根学習館 ラスペックホール

※講演会「～老いを柔(やさ)しく受けとめて～」 講師：小松 みゆき

※映画上映会「ベトナムの風に吹かれて」 来場者数：350名

※事業啓発リーフレット&カレンダーを映画上映会での配布を行い南区「家族ふれ愛月間」のPRを行いました。

**○南区「家族ふれ愛月間」卓上カレンダー作成**

区内中学校の卒業生へ配布し、南区「家族ふれ愛月間」の認知度向上を図りました。

**ウ 第3部会【産業、観光、文化・スポーツなどを担当】**

**◎平成27年度**

**○「南区たからいち」を開催**

日時：平成27年9月12日(土) 会場：白根総合公園

開催概要：南区物産のPR、南区飲食ブースの出店、芋麻を使った凧綱製作実演、南区産ぶどうの種飛ばし大会、区バスPRコーナー、区バスで巡るシャトルバスみずつち号 ほか

南区の産業や観光の活性化のために、南区の宝となるものを区内外にPRしました。

※来場者数：約1,400名

**○「南区綱引き合戦」を開催**

日時：平成28年2月6日(土) 会場：白根カルチャーセンター

開催概要：地区対抗綱引き、区内コミ協紹介パネルの展示

南区各地域の交流と親睦を目的に、南区の一体感を創る機会となりました。

※参加者数：8チーム(約120名)

◎平成28年度

○「南区綱引き合戦」を開催

日時：平成29年2月5日(日) 会場：白根カルチャーセンター

開催概要：地区対抗綱引き、区内コミ協紹介パネルの展示

※参加者数：8チーム(約120名)

○農商工連携イベントの検討

農商工連携イベントについて協議し、農家へのアンケート調査を実施

○南区の食について考える座談会

日時：平成29年1月15日(日) 会場：天昌堂

開催概要：「消費者のニーズを掘り起こす取組(消費者の声を聴く)」意見交換会の実施。

参加者：南区の主婦層を中心とした女性13人

エ 広報部会

◎平成27年度

○南区自治協議会だよりの発行

区自治協議会委員の活動や部会報告の他、南区の宝となるものや話題、地域で活躍している人を紹介するなど、興味を引く紙面づくりに努めました。

・第3号 平成27年 7月 5日発行

・第4号 平成27年12月16日発行

・第5号 平成28年 3月20日発行 年3回

○南区自治協議会PR回覧板の作成

PR回覧板を自治会で使用してもらうことによって、幅広い年代の方々に対して自治協議会の認知度向上を図りました。

◎平成28年度

○南区自治協議会だよりの発行

・第6号 平成28年 7月17日発行

・第7号 平成28年12月18日発行

・第8号 平成29年 3月19日発行 年3回

(3) 提案事業について

区自治協議会委員提案事業に対しては、地域課題の解決のために各部会で企画・検討から事業実施まで、区自治協議会委員が主体となり行い、今期は、地域活動団体と連携した事業を実施することで、「協働」の推進を図ることができました。

### 3 課題

#### (1) 諮問機関としての役割について

全体会での市や区からの報告事項について、委員の質問や意見に対して適切な応答ができるような準備・配慮をお願いしました。また、資料はなるべく事前の配布をお願いしましたが、会議までの短い時間の中で、選出団体に意見集約することはなかなか困難です。さらに多岐にわたる議事に対して、精通する委員が少なくなってきたため、的を射た意見になりにくい現状もあります。

また、この第5期から第1号委員の任期が最長6年となり、経験を重ねた委員により、区自治協議会が活発な意見の場となることが期待されましたが、その重要性が認知されず、コミ協選出委員の入れ替わりが続いたため、その役割を十分に果たせたとはいえません。今後、コミ協と区自治協議会の関係性を再検討しなければならないと考えます。

なお、委員研修によって、はじめて「諮問」「協働」の言葉を知る委員も多く、委員への研修も必要ですが、引き続き、市民一人一人が協働の意義や役割を知って行動する新潟市となるように、広める努力と工夫が必要です。

#### (2) 提案事業について

区自治協議会委員が主体となり委員自らが企画運営を行う事業については、今期は、地域のさまざまな団体と連携・協力することで、区自治協議会が目指すものを周知できるよう取り組みました。今後も、南区一体となって取り組まなければならない課題は多いため、さまざまな団体が参画し、独自の知恵とアイデアが結集する場ができることに期待します。

また、事業の成果を上げるためには、その方法・手段は常に委員により評価され、既存のものにとらわれることがないようにしたいと考えています。そのためにも今後も委員の運営だけでは足りない部分は、外部への協力依頼が必要であると思います。

#### (3) 外部会議への委員選出について

区自治協議会委員として、外部の組織・会議への出席を求められますが、その会議の構成員となることの意義を見直す必要があるのではないのでしょうか。

多様な選出団体から成る区自治協議会ではありますが、常に適切な人材を選出できるとは限らず、また本来その会議には必要な組織からすでに選出されているのではないかと思われるものもあります。新潟市として全体を大きくとらえて、会議は必要な会議に絞り必要な人材に絞ることを検討してほしいと思います。